

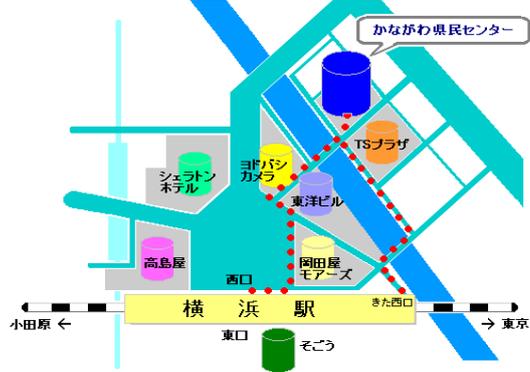
第2回 10月2日(金)

講演 田仲 康博さん(国際基督教大学)

# 沖縄・占領と現在

18時半 かながわ県民サポートセンター304 資料代500円

沖縄の〈占領〉は、終わったのか？ 田仲さんは「占領が生み出した時空間に未だ囚われの身となっている沖縄において、今もっとも必要なことは、「復帰」の意味を問い直すことなのだ」(『イモとハダシ〜占領と現在』社会評論社 2009 年)と指摘する。田仲さんの専攻は社会学・メディア論・文化研究。共著に『沖縄に立ちすくむ』(せりか書房 2004)など。提起を受けて、〈沖縄・占領と現在〉を共に考えます。



## 〈アジア〉の視点から問い返す〈沖縄と日本〉～7月11日第1回講座に60人参加



ドキュメント映画『反国家宣言～非日本列島地図完成のためのノート』は、70年代初頭に制作され95年に再編集された貴重な記録映画。制作者の山崎佑次監督、大阪のプラネット映画資料図書館の協力で横浜上映が実現。沖縄の日本への〈復帰＝再併合〉直前の沖縄青年同盟(「日本復帰」ではなく「沖縄の自立と解放」を求めた在日沖縄青年たちのグループ)の活動から始まり、雪の北海道＝アイヌモシリ(アイヌの大地)の風景で終わる壮大なスケールで描く。〈アジアの視点〉から日本の侵略と戦争の近現代史を撃つモノクロの映像は、仲里効さんの講演「〈復帰＝再併合〉を問う」の問題提起も含めて、参加者に鮮烈な印象を残しました。(講演録作成中)

## 1609年薩摩侵攻から400年 1879年琉球処分から130年

ことし2009年は、1609年の薩摩・島津氏による琉球侵略から400年、1879年の日本国家による琉球処分から130年の節目の年にあたります。沖縄では本年1月30日にこの「400年」「130年」を「問う会」が結成されました。日米軍事再編と対峙し続ける〈沖縄からの問い〉に、どう日本(ヤマト)から呼応していくのか、〈沖縄・歴史と現在〉を学ぶことを通じて、考えたい。日本の〈アジアにおける侵略と戦争の近現代史〉を総括する視点を手放すことなく。そんな思いから、**09 連続講座 〈沖縄・歴史と現在〉**を企画しました。参加を！

主催：沖縄の自立解放闘争に連帯し反安保を闘う連続講座

後援：自治労横浜市従業員労働組合

賛同：基地撤去をめざす県央共闘会議/ピースサイクル神奈川 他

沖縄講座 HP <http://www.7b.biglobe.ne.jp/~okinawa-koza/>